

2021

経営革新計画承認企業事例集



令和3年度「千葉県経営革新優秀企業表彰」受賞企業及び
現在計画に取り組んでいる企業について、御紹介します。



千葉県



優秀企業賞受賞

株式会社 福富製作所

代表取締役 石崎 雅彦 氏

『熟練技術者の発想力と最新の設備を融合させて、門扉のスペシャリスト
集団であり続ける。』

株式会社福富製作所は、現社長のお祖父様が昭和5年に個人事業で創業しています。お祖父様の実家が福富町（現在の匝瑳市内）にあったことから福富製作所の名をつけています。農業用犁（すき）の製作から始まり、戦時中は船の部品や航空機の部品を製作、戦後はすぐに小型澱粉製造機の製造販売を開始しています。小型澱粉製造機は日本全国に販売され農林省（当時）から表彰されるまでに至っています。昭和28年には法人化して株式会社福富製作所に組織変更するなど業容を拡大していきました。しかし、昭和38年の砂糖の輸入自由化に合わせて米国からとうもろこし澱粉が安価で輸入されるようになるとさつまいも澱粉の需要が減退し、小型澱粉製造機が全く売れなくなってしまいます。そこで澱粉製造機に代わる製品として昭和41年からオーダースチールドアの製造を開始し、昭和49年からは連動門扉の製造販売を開始して、門扉とスチールドアを2本柱とする現在の事業形態が形成されることになります。

石崎社長は、高校生の頃から大学生時代にかけては、休みの時などに実家の工場の仕事を手伝うようになり、金属の切断、製品の配送などを経験しています。大学卒業後はシャッター関係の大手企業に就職して3年間勤務したのち、平成元年に当社に入社。主にスチールドア部門で製造、営業、設計等を担当することから始めています。現専務である石崎社長の弟さんは平成4年に当社に入社、主に門扉部門で設計等を行ってきています。バブル崩壊後にはかなり厳しい時期もありましたが品質を下げることなく真摯なものづくりを継続していきました。連動門扉は東日本大震災の津波の圧力に耐えたこともあり、信頼が増し、需要の増大に伴って高品質・短納期・低コストでの提供を求められるようになっていきます。

工場外観



連動門扉



経営革新への取組が必要と考えた理由は？

東京オリンピック開催が決定したことで、建設業界の需要が徐々に拡大していき、東日本大震災の復興事業も加速されることで、門扉業界においても工期等の問題からリフォーム物件が増大していました。特に既存他社門扉のレールや基礎をそのまま利用して扉本体のみを交換する需要が増加していたのですが、その当時の当社には効率的に生産する技術と体制が確立されていませんでした。当社では平成25年度補正もの

づくり補助金を活用して物件管理データベースや門扉専用CADを導入するなどしてIT化を進めていましたが、門扉製造部門の製作図・部材加工の工程が新たなボトルネックとなり、対策が必要となっていました。これを解決するためには多額の設備投資が必要でしたので、申請を予定していた次回ものづくり補助金の採択が有利になるようにとの狙いもあって経営革新計画の承認を目指すこととなりました。

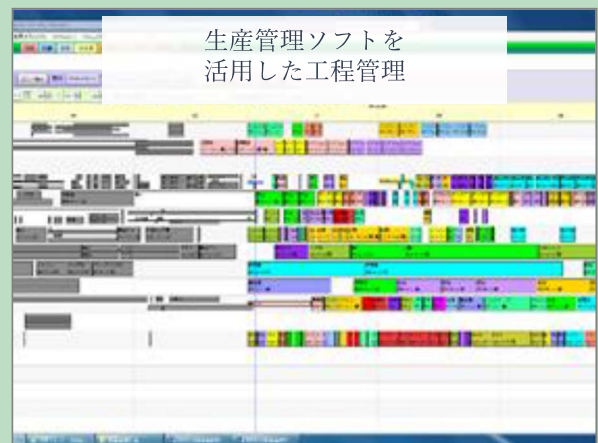
経営革新計画に盛り込んだ内容や目標は？

「ITを活用したリフォーム用特殊門扉の生産プロセスの革新と構築」をテーマに平成28年11月から令和3年1月までの5年計画を作成しました。具体的には「増加するリフォーム需要に応じた門扉の特殊仕様オーダーに応えるために門扉の生産プロセスを革新しリフォーム用門扉の特殊仕様を確立する」ことを目標として次の2項目の実行計画を作成しました。

1. 新しい生産プロセスの構築
 - ①NC加工機の設置
 - ②NC用製作図システムの導入
 - ③生産管理システムの構築
2. 顧客の要求への対応
 - ①既存他社門扉からの交換
 - ②既存当社門扉の保守・交換

承認計画への具体的な取組は？

1. 物件情報・顧客仕様・製品仕様・CADデータを蓄積し、分析・分類しました。
2. 他社レール対応仕様を開発・パターン化・共通化し、リフォーム用特殊仕様門扉を確立しました。
3. 受注データ・CADデータ・NC加工データを連携させ、生産リードタイムの短縮を図りました。
4. 計画～受注～製造～出荷を連携させ、さらに高品質・短納期・低コストの製品提供を可能としました。
5. 他社製既存レールをそのまま利用して当社門扉に交換する新事業を「RE門扉（リモンピ）」という名称で商標登録し、チラシやホームページを通じて認知度向上を図りました。



承認計画の成果や効果は？

1. 物件管理データベースに蓄積された過去情報を分析し、特殊仕様を分類して、類似した顧客仕様・製品仕様をまとめました。同時にそれらに付随する類似したCADデータを整理し、共通仕様にまとめました。
2. 前項1.により整理分類されたデータを当社独自のリフォーム対応仕様として確立させました。
3. NC加工機を導入することによって、手加工中心の部材加工工程を自動化し、高品質・多機能性を高めました。また、受注データ・CADデータ・NC加工データを連携させることで、リフォーム用特殊

仕様製品のリードタイムを短縮し、短納期対応を可能にしました。

4. 計画～受注の工程において、物件管理データベース情報（見積・図面・追及・失注・特殊仕様・過去受注）を有効に活用し、物件の動向を確実に捉え、新規受注に結び付けました。また、受注～製造～出荷の工程においては、生産管理システム（受注登録・スケジューリング・進捗管理・外注管理・出荷）をリアルタイムに活用して生産リードタイムを短縮し、リフォーム顧客の短納期要求等に確実に応えられるようになりました。

承認計画の成功要因は？

設備投資によって生産体制が整い、生産効率が向上したことが功を奏したと考えています。具体的には、NC加工機の導入によって従来手加工中心であった部材加工時間を大幅に短縮することができ、従来外注していた特殊部材についても部品のパターン化によってNC加工機で内作できるようになりました。また、生産管理システムの利用で生産の進捗状況をリアルタイムで把握できるようになったことも短納期製作に結び付いています。これらの成果は単に設備を

導入したから得られたのではなく、熟練技術者が作ったことのないものに挑戦するときの柔軟な発想力を今回の最新の機械を導入するときにも活用し、「技術と設備の融合」を図りながら進めていったことが成功をもたらしたものと考えています。熟練の知見とNC加工が融合している生産設備なので経験の浅い技術者でも比較的短時間で精度の高い加工ができるようになっていきます。

現状の課題、経営者として取り組まれていることは？

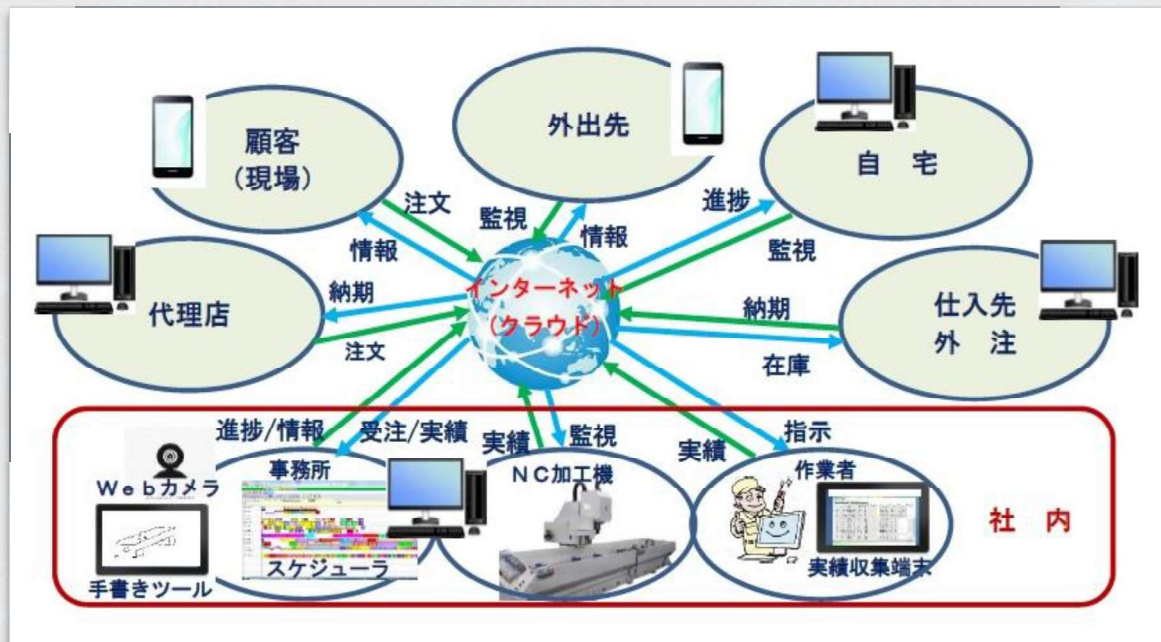
門扉製品に関するすべての情報を網羅した当社独自の「門扉データベース」（顧客仕様・製造仕様・生産管理・在庫管理をデータベース化し、計画～受注～図面～加工～組立～出荷～保守～計画の各工程と連動する仕組み）の構築を目指して、まずは、全員がタブレットを携帯して作業内容を逐次入力することで、リアルタイムで

の進捗管理導入を進めています。また、人によって作業のやり方が違ってくる手加工の工程の機械化・標準化をさらに進めていき、新人であってもNC加工機を使うことで熟練技術者に近い精度の加工ができるように取り組んでいます。

今後の夢、将来の展望は？

当社は、今までもこれからも門扉のスペシャリスト集団であり続けたいと考えています。そのためにまずは門扉データベースを完成させることが最初の夢となります。そして、溶接ロボットの導入やIOTの活用等による工程の自動化を更に進めていくのと同時に最新の機械を使いこなす人材の育成も行っており、機械と技術の融合を一層進めることが必要であると考えています。当社はものづくりの会社ではありますが、

これからも代理店の皆様からの協力を得ながらも、自社の営業力や提案力も高めていければと思っています。当社を門扉のスペシャリスト集団として永続させるためには、人材の育成が不可欠です。各現場を支えるスタッフの育成や技能の伝承がとても大切ですが、次世代の経営者やその右腕となる人材の育成も重要ですので、事業承継にも計画的に取り組んでいきたいと考えています。



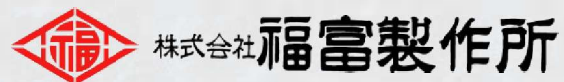
これから経営革新にチャレンジされる経営者にアドバイスを

経営革新への取組を振り返ってみますと、もしもあの時何もやらずにいたら今頃どうなっていたのだろうかと考えます。現状維持を選んでいたら、きっと衰退の道を歩んでいたことと思います。皆様に何かやりたいことがあって、実行するかどうかを迷っているのであれば、経営革新にトライしてみる価値が十分にあると思います。経営革新は、自社の事業計画を第三者に評価され認めてもらう制度です

が、事業計画を何回も作り直すことで頭の中がクリアになり、数値目標も明確になっていきます。自社の戦略を数値とリンクさせた形で整理するのが経営革新の特長です。経営革新は製造業のためのものといったイメージがあるかもしれませんが、商業・サービス業の方にとっても経営革新は有意義な取組です。迷っているのであれば、経営革新に是非トライしてみてください。

憩いのひと時

石崎社長は、何かを観たり、人と会ったりすることで心身ともにリフレッシュするとともに、仕事にも役立つ情報も得ています。コロナ前までは、休みを利用して、ミュージカルやコンサートを観に都内によく出かけていましたし、商工会を始めとした地元の団体の会合や友人との集まりなどにも積極的に参加して情報を得ていました。コロナの状況が落ち着いてきましたら、また、出かけて行って何かを観たり、人と会ったりすることを楽しみにされています。



業 種：金属製品製造業

所在地：旭市口の537番地

資本金：10,000千円

従業員数：26名

電話番号：0479-64-1800

URL：https://www.fukutomi-ss.co.jp/

◇ ◇ ◇

承認年月日：平成28年10月27日

承認類型：③